

令和5年度（第25回）鶉野平和祈念祭に参加して

東播支部（支部長・石田真一）は、令和5年10月7日13時から兵庫県加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場において開催された令和5年度（第25回）鶉野平和祈念祭に参加しました。この祈念祭は鶉野平和祈念祭実行員会の主催で毎年遺族の参加を募って厳かに開催され今年で25回目を数えます。



石田支部長



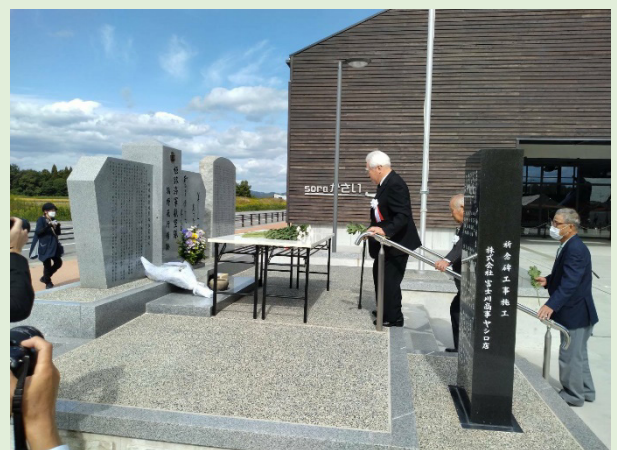
鶉野平和記念祭参加者

今年は海軍旗掲揚で始まり、主催者を代表して鶉野平和祈念の碑苑保存会事務局長である上谷様の挨拶、黙祷、献花、小野高校の生徒による遺書朗読、「海ゆかば」斉唱、追悼演奏（同期の桜・若鷺の歌・ふるさと）、遺族代表謝辞（第一護皇白鷺隊 湯川 俊輔 海軍少尉の姪）と続き、最後は海軍旗降納で行事を終了しました。

この海軍飛行場跡地は、陸上自衛隊鶉野訓練場として近年まで自衛隊が管理していましたが、加西市に払い下げられて以降は、防災拠点として、また戦争遺跡公園としての役割を担っています。



挨拶される上谷様



前 保存会会長 三宅 様

公園内にある資料館では、当地の戦争遺跡群を通じて、63名の若者が返らぬ人となった悲惨な戦争を二度と起こさない。起こしてはならないとの強い信念の下、来場者に史実を広く啓発しています。近年においては、近畿地方の中・高校生が学校教育の一環として見学研修に訪れており、その数が年々増えているそうです。

我々隊友会東播支部は、毎年7月下旬に鶉野平和祈念の碑苑周りの除草・慰霊行事を鶉野平和祈念の碑苑保存会の方々と行っています。既に、祈念祭は25回目ということで、参加される方々は80歳前後の高齢となり、隊友会の若い力が必要不可欠な状態となっています。国内でも残り少ない海軍航空隊飛行場がこれほど近くに存在するということもあり、自衛隊とのかかわりを大事にする主催者側の要望を少しでも多く取り込んで、今後も微力ながら協力して行きたいと思います。